

あなたの道を、
あなたの歩幅で進めばいい。

Webイベント

2022.9.4 日
→ 13:00~16:30

青年期・成人期における
発達障害のある人を
誰一人取り残さない社会に向けて

基調講演

本田 秀夫 先生

信州大学医学部子どものこころの発達医学教室 教授

プロジェクト報告・
パネルディスカッション

発達障害に関連する困りごとに応じて
対処法を自動提案するチャットボット

1ヶ月間の見逃し配信を予定!



筑波大学
University of Tsukuba



SOLVE for SDGs
SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム



参加無料

お申し込みは裏面に

2022.9.4(日)
→ 13:00~16:30

Webイベント
Zoomウェビナー

青年期・成人期における発達障害のある人を
誰一人取り残さない社会に向けて

《第一部》基調講演

→ 13:00~14:20



青年期・成人期における発達障害のある人を
取り巻く現状や課題、目指すべきこと

本田 秀夫先生

信州大学医学部子どものこころの発達医学教室 教授

精神科医。東京大学医学部を卒業後、東京大学医学部附属病院、国立精神・神経センター武蔵病院、横浜市総合リハビリテーションセンター、山梨県こころの発達総合支援センター所長、信州大学医学部附属子どものこころ診療部長・診療教授を経て現職に至る。

発達障害の早期発見、早期介入から成人期の支援まで、あらゆるライフステージにわたる臨床経験をもつ発達障害の専門家。

知的障害を伴わない自閉症が稀ならず存在することを世界で初めて実証した疫学調査は国際的にも評価を受けている。現在は、大学を拠点として児童青年精神科医の育成と臨床研究体制の整備に取り組んでいる。

2019年10月、NHK「プロフェッショナル～仕事の流儀～」に出演。“発達障害を診るスペシャリスト日本屈指の精神科医”と紹介される。



《第二部》プロジェクト報告・パネルディスカッション

→ 14:30~16:30

プロジェクト成果報告 佐々木 銀河(筑波大学人間系 准教授)

発達障害に関連する困りごとに応じて対処法を自動提案するチャットボット

パネルディスカッション

青年期・成人期における発達障害のある人を
誰一人取り残さない社会に向けて、私たちができること

パネリスト



加藤 永歳

厚生労働省 社会・援護局
障害保健福祉部 障害福祉課
障害児・発達障害者支援室
発達障害対策専門官

行政の立場から：厚生労働省の発達障害対策専門官として、発達障害者支援に関して各地域や全国的な動向を踏まえ政策立案を行っている。



岩田 淳子

成蹊大学文学部 教授／
学生サポートセンター学生相談室
カウンセラー

学生相談の立場から：大学教員かつ学生相談室を担当するカウンセラーとして、大学における発達障害のある学生を含む学生支援・相談に関わっている。



後藤 千絵

一般社団法人
サステナブル・サポート
代表理事

就労支援の立場から：就労支援サービスを展開する事業者として、働くことにつまずく若者や大学生、発達障害や精神障害のある人の就労支援に関わっている。



芝崎 文子(コピー)

東京大学大学院
教育学研究科博士課程

当事者の立場から：ADHDのある大学院生であり、成人期ADHD者の適応に関する研究を行う立場として、発達障害のある人の視点から見た情報発信や研究を進めている。



モデレーター

佐々木 銀河

筑波大学人間系
准教授

発達障害の診断や傾向のある学生への支援に関する研究・実践プロジェクトに取り組む。チャットボットプロジェクトの代表を務める。



申込
方法

下記の申込フォームより お申し込みください。

https://jp.surveymonkey.com/r/2022_dd_event →

2022年9月4日《日》 締切

※情報保障等が必要な参加者は
2022年8月14日《日》までに申し込みを依頼

→1ヶ月間の見逃し配信を予定! 見逃し配信のみの方も申し込みください。

参加無料



主催 筑波大学人間系 准教授 佐々木銀河

(JST- RISTEX SOLVE for SDGs 令和2年度採択シナリオ創出フェーズ 研究代表者)

「発達障害の特性に関連する対処法を多様な脳特性に対応して自動提案する情報配信サービスの可能性検証」

https://www.jst.go.jp/ristex/solve/project/scenario/scenario20_sasakigingapj.html

共催 筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター

問い合わせ先 筑波大学人間系准教授 佐々木銀河 ✉ sgalaxy@human.tsukuba.ac.jp